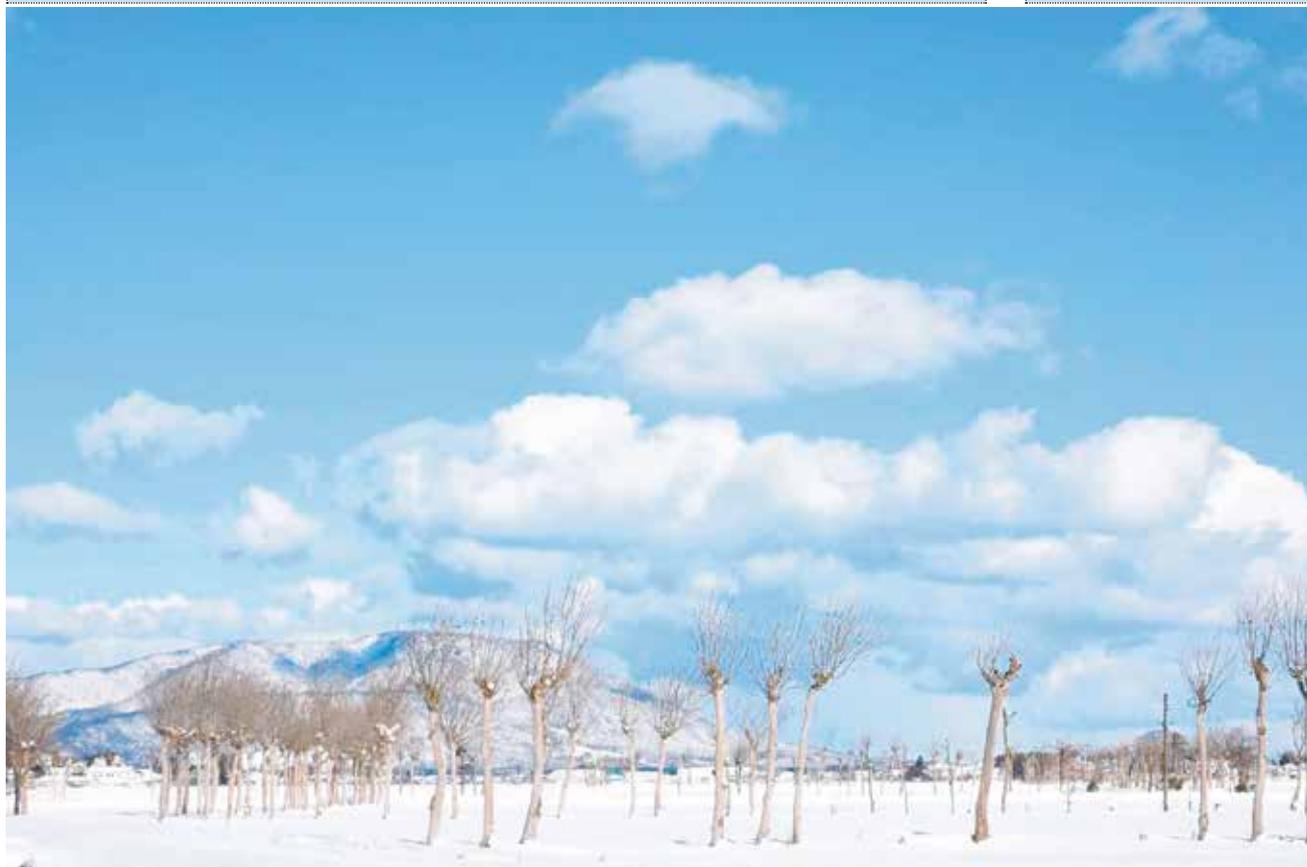


# 新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



2022 年冬号



## 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い

当院では、院内感染を防止するために、以下の対策を行っております。来院される皆様（患者さん、ご家族、関係機関の方）のご理解とご協力をお願いいたします。

- 入院患者さんとの面会は原則お断りさせていただきます。
- 2週間以内に新潟県外から来られた方、県外滞在歴のある方との接触はご遠慮ください。
- 2週間以内に発熱（37.5℃以上）及び風邪の症状がある方は来院前に外来にお電話をください。
- 発熱・呼吸器症状などの有無を確認させていただきます。
- 必ずマスクを着用してください。

## —Contents—

- ◆新年のご挨拶
- ◆「ずっと安心エコー、始めました」腫瘍循環器科 大倉裕二
- ◆部門紹介 《医療機器中央監視室》・《感染管理部門》
- ◆着任医師紹介
- ◆令和3年度地域医療連携講演会のお知らせ
- ◆令和4年1月外来診療予定表



# 新年あけましておめでとうございます



院長あいさつ

佐藤信昭

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大が続いています。新潟県は患者数が増加している場合においても、オール新潟の協力体制によりコロナ患者への

の医療と並行して、通常医療が適切に提供されるように取り組みを進めています。当院も院内感染を防止し、患者さんの安全に配慮しながら、職員一丸となってがん診療を継続しております。

新型コロナウイルス感染症への対応、地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療機関は機能を分化して、連携を強化することがより一層求められています。今回は、がん領域における連携強化としてがん・生殖医療ネットワークを紹介します。一部のがん治療は卵巣や精巣などに対する毒性があるため、将来子どもを持つことが困難になることがあります。これまで、病気を克服することが最大のゴールであり、がん治療に伴い将来子どもを持つことをあきらめざるを得ないこともありました。しかし最近、生殖補助医療技術の進歩により精子や卵子などの凍結保存などが広く普及してきています。がんと診断された後に速やかに治療を開始することの多い思春期（15歳～）から30歳代までのAYA（adolescent and young adult）世代のがん患者にとってがん医療と生殖医療を受けられるようになりつつあります。そのためには、医療機関の連携が特に重要となります。新潟県では日本産科婦人科学会「医学的適応による凍結・保存に関する登録施設」である新潟大学医歯学総合病院とがん治療を担当するがん診療連携拠点病院による「がんと生殖医療 地域連携 新潟県」が2021年5月24日にオープンしました。がん医療と生殖医療の進歩により、がんサバイバーが将来子どもを持つことに向けて一歩前進することになります。

新潟県のがん患者さんを救うには私たちだけではまだまだ力が足りません。がん患者さんにより良い医療を提供するために施設の垣根を越え、チームとしての連携を進めましょう。

全ての患者さんに最善のがん医療を提供するため、本年も皆さまのご指導、ご支援をいただくよう、お願い申し上げます。





## 事務長あいさつ

杉山 興



新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

さて、昨年 11 月全国がんセンター協議会が、がん 10 年生存率は 58.9%との調査結果を公表しました。治療薬の進化などにより改善が続いているとみられていますが、当院でも、がん 5 年生存率は直近では 66.3%と、概ね改善傾向にあり、患者さんにとっては将来に希望の持てるデータではないかと思えます。

このような生存率の延伸傾向も、がんの早期発見・早期治療があつてこそその結果ですが、近年コロナ禍でがん検診の受診率が大幅に低下していることが気がかりです。令和 2 年度の県内がん検診受診者は前年度比 2 割減、今年度も 4 月から 6 月までで感染禍前の令和元年度同期の 7 割にとどまっている状況です。これらを反映してか、全国でもがん診療連携拠点病院などで令和 2 年度に新たにがんと診断された人が約 6 万人も減ったとのこと。このままでは、がんの発見が遅れ、治療の選択肢が限られてしまうケースが増えたり、ひいては生存率の悪化が心配されるところです。一日も早く、がん検診の受診率がコロナ禍前の水準に回復するよう願うばかりです。

ところで、当院は新型コロナウイルス感染症患者の受け入れは行っておりませんが、がん診療専門病院として県内医療機関の下支えを担うこととしています。例えば、感染症対策等ががん診療まで手が回らない場合のサポートや、診療所等の医療従事者の方へのワクチン接種のほか、職域接種、自宅療養者へのオンライン診療などに協力しています。その他、市町村の集団接種会場には当院の医師や看護師も出務を行っています。また、当院では発熱等の感染症が疑われる患者さんが来院される場合に備えて、PCR 検査器械の設置の他、発熱外来診察室・待合室を設け一般の患者さんと極力導線を分けること等により、安心して受診できる環境を整えています。コロナ禍においてもがん診療が円滑に継続できるよう、当院としての役割を今後とも果たしてまいります。

本年も地域の医療機関を始め関係機関の皆様のご発展を祈念致しますとともに、一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

### 基本理念

県民をはじめとするすべての患者さんの、最善のがん医療を提供します。

### 基本方針

1. 常に診療情報を開示して、患者さんとの信頼関係をもっとも大切にします。
2. がん診療連携拠点病院として、すべての医療機関と連携を密にします。
3. がんの研究を行うとともに、患者さんのための医療人の育成に努めます。
4. 病院運営の適正化と効率化に努めます。

## 『ずっと安心エコー、始めました』

～アントラサイクリン心筋症を減らすためのクリニックとの連携～

新潟県立がんセンター新潟病院 腫瘍循環器科 大倉裕二

### 1. がん医療に特異な現象－若い患者さんの重症心不全

がん医療に関わる方々の献身的な活躍により、がん全体の10年生存率は58.9%になりました。患者さんは家事や仕事を続けながら療養できるようになりましたが、一方で、治療後数年を経て希望を打ち砕く様な重症心不全を発症することがあります。アントラサイクリンの心毒性による心不全です。当院では毎年2～3人が抗がん剤による重症心不全を発症しています。

### 2. アントラサイクリン心筋症とは

ドキシソルピシンが1975年に使われ始めてもうすぐ半世紀です。心毒性による心不全がまれに起きます。軽症のうちにACE阻害薬やβ遮断薬といった心保護薬で治療すればある程度の回復が望めますが、重症化すると治りません。心臓移植を待つ患者もいます。早期発見が重要ですが、「警告量を越えなければ大丈夫」といった誤解や油断からフォローを怠り、重症・難治化を招くケースが後を絶ちません。

### 3. なぜ、今、アントラサイクリンなのか？ 世界の潮流

最新のガイドラインESMO2020では、「薬剤性心筋症は予防すべき疾患である」という視点に立ち、抗がん薬や放射線など心毒性のある治療を受けた患者は、定期的にフォローするよう勧告しています。

### 4. 当院の対応「3つの盾」と「リマインダー」

アントラサイクリン心筋症は「見つかる」病気から「見つけるべき」病気になりました。3つの盾－治療前後の心エコー、経過観察に用いるNT-proBNP、そして心保護薬で患者さんを守ります。さらに、アントラサイクリンを使った患者さんを登録して、半年毎にNT-proBNPの測定を担当医に促す仕組み－リマインダーシステムを開始しました。NT-proBNPなら400pg/mL以上、BNPなら100pg/mL以上で心エコー検査を勧奨します。

### 5. クリニックとの連携「ずっと安心エコー」始めました

#### 従来のフォローアップ心エコーのフロー



#### NEW ずっと安心エコーのフロー



患者さんを紹介元のクリニックにお返しした後も、年に1回はBNP検査をお願いしたいと思います。「異常値の際にどこに紹介したらよいか？」に応えて、当院では、今年10月から図の様な取り組みを始めました。従来の手間を省き、クリニックの先生方に当院の心エコー検査を気軽に利用していただく仕組みです。詳しくは、当院ホームページに入り、「医療関係の方へ」

に進み、「患者サポートセンター（地域連携部門）」をお訪ね下さい。FAX申込書がダウンロードできます。受付から会計まで1時間程度で利便性を高めましたので、大切な患者様のフォローアップに是非お役立て下さい。  
※FAX 申込書ダウンロード先 <https://www.niigata-cc.jp/bumon/chiikirenkei.html>

## 部門紹介

# 医療機器中央管理室

医療機器中央管理室 星 力央

医療機器中央管理室では、臨床工学技士による医療機器の中央管理を行っています。現在スタッフ数は4名と少数ですが、それぞれのスキル活用やスタッフ間連携を良好にし、医療機器の操作・保守管理を通じて医療現場と患者さんの安全を支えています。



### ● 手術室業務

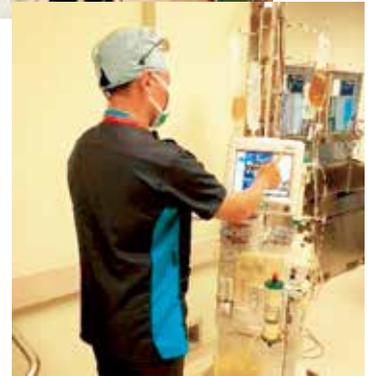
手術を行うために必要な機器の点検・保守管理はもとより、医師の指示のもと、術中に機器操作を行います。全身麻酔に使用する全身麻酔器・生体情報モニタ・電気メス・血液ガス分析装置・ラジオ波焼灼装置・術中神経モニタリングシステムなど、幅広い機器の対応を行います。

近年、身体への負担が少ない腹腔鏡システムなどを用いた鏡視下手術が特に増加しています。鏡視下手術に使用する機器の準備・動作点検・術中操作・記録管理を臨床工学技士が一元的に担うことで、安全かつスムーズな手術進行を支えています。



### ● 血液浄化業務

緊急に血液浄化を実施する必要がある患者さまに、血液浄化療法を実施しています。がん診療連携拠点病院の当院では、腹水ろ過濃縮再静注法（CART療法）・末梢血幹細胞採取・骨髄幹細胞採取などの治療にも対応しています。



### ● 医療機器管理業務



輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器・ベッドサイドモニタなど、医療機器の中央管理を行います。日々の点検と保守管理を臨床工学技士が行うことで、整備された安全な医療機器をいつでも現場へ届けています。

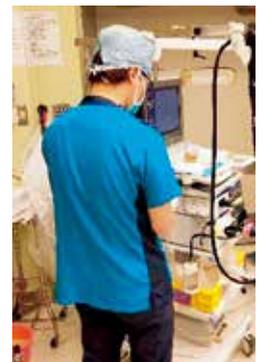
また、呼吸サポートチームなど臨床治療にも積極的に参加しています。人工呼吸器使用開始時の安全管理から、治療方針に合わせた設定の提案、機器離脱後に使用する酸素療法デバイスの選択など、医療の質・安全の向上に努めています。

### ● 内視鏡関連業務

内視鏡検査や手術中に使用する内視鏡装置、ファイバースコープの点検を行っています。臨床工学技士の目線で機材の点検を実施し、異常の早期発見に努めることで正確な診断と治療を支えています。

スタッフ数が少ない事から周辺の病院と比べて至らない点も多々あり、日々、他職種の方からフォローや叱咤激励を頂きながら業務を進めています。

院内での業務を滞りなく進められる体制が構築できるよう、スタッフが一体となり業務に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



# 感染管理部門

感染管理認定看護師 小山 和子

当院には感染管理医師（Infection Control Doctor：以下ICD）の資格を持つ医師が何人かおられますが、その中から3名のICDが院内の患者さんを感染から守るために日々活躍しています。それぞれ、血液内科・小児科・消化器外科ですので、大変心強く、頼りになるICDです。3名の他に、呼吸器内科の田中副院長、同じく呼吸器内科の三浦医師がおられます。5名でチームを組み、2020年1月からは新型コロナウイルス感染症対策について話し合いを重ね、当院の対応方針を考え、院内の医師からの相談に対応しています。

看護師は、専門に感染管理の業務を行っているのは私だけですが、各病棟や外来から1名ずつ、看護師長が3名、総勢16名による院内感染防止対策チーム〔看護部〕があります。院内全ての看護師が適切な感染防止対策を行えるよう、日々活動しています。臨床検査技師は2名で、院内の病原性微生物を的確に判断し、院内感染の兆候をいち早く発見し感染を拡大させないために目を光らせています。

薬剤師は2名で1名は感染制御認定薬剤師です。患者さんに投与する抗菌薬が適切に使用されているか、調査・確認を行い医師のサポートをしています。

経営課の事務職員もいます。感染防止対策には適切な物品や設備が必要です。職員や患者さんが使用する物品等について、当院には何が必要かを一緒に考え、進めてくれています。

当院は都道府県がん診療連携拠点病院の役割があり、がん患者さんの多くは、疾患そのもの、または手術や薬物療法などのがん治療に伴い、免疫力が低下された状態にあることから、積極的に新型コロナウイルス感染症の患者さんの受け入れは行っておりません。だからこそ、がん患者さんの診療を滞ることなく継続していくことが当院の使命と考えています。

感染症は新型コロナウイルス感染症ではありません。院内感染防止対策を徹底し、検査・診断・治療・緩和ケアに至るまで、患者さんやご家族が感染の心配なく、安心して来院していただけるように、今後も力を合わせて頑張っていきたいと思っています。



院内感染防止対策チームのメンバーです



呼吸器内科:三浦医師(結核担当医)



## 医師紹介

年度途中に着任した  
医師をご紹介します

### 《消化器外科》白井 賢司



地域の先生方には日頃より大変お世話になっております。10月1日付で着任致しました。短期間の予定ではありますが、皆さまのお役に立てるよう尽力させていただきます。

### 《消化器外科》田中 花菜



10月より着任致しました。主に下部消化管を専門にしております。一人一人の患者さんに合わせ、より良い医療を提供できるよう心がけて参りたいと思います。よろしくお願い致します。

### 《婦人科》木谷 洋平



婦人科の木谷です。9月から赴任いたしました。患者さんのために、他施設・他部門の方々とスムーズな連携が取れるよう努めます。よろしくお願いいたします。

### 《乳腺外科》小幡 泰生



10月より乳腺外科で勤務しております小幡泰生と申します。半年間と短い期間ではありますが、ご指導ご鞭撻の程何卒宜しくお願い致します。



## 令和3年度地域医療連携講演会のお知らせ

今年度もWEB（Zoom）による地域医療連携講演会を開催致します。都道府県がん診療連携拠点病院の研修事業です。ご参加をお待ちしております。\*詳細は同封の案内をご覧ください。

○日時 2022年3月3日（木）18:30～20:00

○内容

講演1	18:30～ 19:00	「当院外来化学療法室の推移と看護に求められるもの」 磯貝 佐知子 副看護師長
講演2	19:00～ 19:30	「新型コロナウイルス感染症のがん診療への影響と当院での取り組み」 塩路 和彦 情報調査部長
講演3	19:30～ 20:00	「がんゲノム医療について」 中川 悟 がんゲノム医療センター長

お問い合わせ：地域医療連携講演会事務局 TEL：025-266-5161



新潟県立がんセンター新潟病院 令和4年2月外来診療予定表

		月	火	水	木	金
内科 <small>(金曜の循環器は新潟大学から)</small>	401診	栗原 太郎(血液)	小方 則夫(消化器)	廣瀬 貴之(血液)	栗原 太郎(血液)	小山 建一(呼吸器)
	402診	大倉 裕二(循環器)	今井 洋介(血液)	大倉 裕二(循環器)	石黒 卓朗(血液)	今井 洋介(血液)
	501診		谷 長行(糖尿病)	谷 長行(糖尿病)		谷 長行(糖尿病)
	502診	今井 径卓(消化器)	大山 泰郎(内分泌)		大山 泰郎(内分泌)	三浦 理(呼吸器)
	601診	田中 洋史(呼吸器)	丹羽 佑輔(消化器)	三浦 理(呼吸器)	高橋 祥史(消化器)	田中 洋史(呼吸器)
	602診	塩路 和彦(消化器)		小林 正明(消化器)	塩路 和彦(消化器)	(AM)佐藤 聡磨(循環器) (PM)尾崎 和幸(循環器)
	201診	(呼吸器内科医師)		梶原 大季(呼吸器)	北條 雄暉(消化器)	馬場 順子(呼吸器)
内科新患予定表は下段を参照してください。						
小児科	1 診	小川 淳	渡辺 輝浩	阿部 咲子	小川 淳	渡辺 輝浩
	2 診		第3週専門外来(14:00~)	笠原 靖史	長期フォローアップ外来	阿部 咲子
*新患は紹介状が必要です。						
乳腺外科 消化器外科	1 診	神林 智寿子(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆膵)	瀧井 康公(大腸)	中川 悟(食道・胃)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	松木 淳(胃)	瀧井(予約のみ)	丸山 聡(大腸)	番場 竹生(食道・胃)
	3 診	五十嵐麻由子(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	神林 智寿子(乳腺)	野上 仁(大腸)	
	4 診	小幡 泰生(乳腺)	長橋 宏規(胃)	高野 可赴(肝胆膵)	小柳英人/田中花菜(大腸)	白井 賢司(食道・胃)
予防センター乳腺		金子 耕司	五十嵐麻由子	神林 智寿子	神林 智寿子	中川 悟(PM)
*乳腺外科は予約制です。*がんゲノム外来は完全紹介制です						
がんゲノム外来 (毎週金曜午後)						
呼吸器 外科	1 診	予約のみ	青木 正	予約のみ	予約のみ	青木正 (AM10時~)
	2 診		岡田 英			岡田 英
骨軟部腫瘍 整形外科	1 診	第2,4週 畠野 宏史	山岸 哲郎(AM)		山岸 哲郎	柳橋 和仁
	2 診	柳橋 和仁			畠野 宏史	1,3,5週 畠野/2,4週 山岸
*完全紹介制です。						
脳神経内科 (新潟大学より)	二宮 格			石黒 敬信		
精神科 (午前のみ)			小林 真理		小林 真理	小林 真理
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
腫瘍内科 (毎週木曜午後のみ)					森山雅人(PM)	
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
脳神経外科	1 診	高橋 英明		五十川 瑞穂	高橋 英明	五十川 瑞穂
	2 診	五十川 瑞穂		高橋 英明	五十川 瑞穂	高橋 英明
婦人科	1 診	田村 亮	菊池 朗(AM)	菊池 朗	田村 亮	山口 雅幸
	2 診	木谷 洋平	山口 雅幸	田村 亮	山口 雅幸(AM)	木谷 洋平
	3 診	予約のみ	笹川 基(AM)	遺伝性乳がん卵巣がん外来 (大学・西野)	菊池 朗(予約のみ)	予約のみ
*完全紹介制です。						
皮膚科	1診(主に新患)	高塚 純子	島田 奏	竹之内 辰也	要藤 歩美	要藤(1,3,5週)/島田(2,4週)
	2診(主に再来)	要藤 歩美	竹之内 辰也	高塚 純子	高塚 純子	竹之内 辰也
	3 診	島田 奏	要藤 歩美	要藤 歩美	島田 奏	島田(1,3,5週)/要藤(2,4週)
泌尿器科	1 診	谷川 俊貴	渡邊 和博	齋藤 俊弘	齋藤 俊弘	谷川 俊貴
	2 診	小林 和博	結城 恵里	小林 和博	結城 恵里	渡邊 和博
*新患は紹介状が必要です。						
眼科	1 診	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
	2 診			佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)
頭頸部外科	1 診	太田 久幸(再診)	富樫 孝文(新患)	予約のみ	川浪 孝介(新患)	川浪 孝介(新患・再診)
	2 診	田中 亮子(新患)	田中 亮子(再診)		富樫 孝文(再診)	第2,4予約のみ
	3 診	予約のみ	予約のみ		田中 亮子(再診)	
*新患は紹介状が必要です。						
放射線 治療科	1 診	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男
	3 診	吉村 奈津美/金本 彩恵	吉村 奈津美/金本 彩恵	金本 彩恵	金本 彩恵	杉田 公/金本 彩恵
*木曜日・金曜日は新患の対応ができない場合があります。						
麻酔科	1診(ベインクリック)	富田 美佐緒/高松 美砂子	富田 美佐緒/高松 美砂子	富田 美佐緒	高松(1,3,5週)/富田(2,4週)	富田/高松(1,3,5週)
	2診(漢方外来)	渋江 智栄子		渋江 智栄子	渋江 智栄子	渋江 智栄子(2,4週)
術前			阿部 崇			
予約制です。						
形成外科	2,4週 13~14時(再来)			坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科	AM/PM	本間 英之	中島 真人	本間 英之/中島 真人	生駒 美穂	生駒 美穂/中島 真人
	*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。 *原則新患1日2名になります。新患依頼は外来へお問い合わせください。					
歯科口腔外科 (日本歯科大学より)	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
令和4年2月内科新患予定表						
新患 (医師2名 隔週交替)	月曜		火曜	水曜	木曜	金曜
	1/31 三浦(呼吸器)		2/1 小山(呼吸器)石黒(血液)	2/2 大山(内分泌) 今井(消化器)	2/3 丹羽(消化器)馬場(呼吸器)	2/4 梶原(呼吸器)
	2/7 小林(消化器)		2/8 高橋(消化器)栗原(血液)	2/9 田中(呼吸器)今井(血液)	2/10 廣瀬(血液)大倉(循環器)	
	2/14 三浦(呼吸器)		2/15 石黒(血液)小山(呼吸器)	2/16 今井(消化器) 大山(内分泌)	2/17 馬場(呼吸器)丹羽(消化器)	2/18 塩路(消化器)
	2/21 小林(消化器)		2/22 栗原(血液)高橋(消化器)		2/24 大倉(循環器)廣瀬(血液)	2/25 梶原(呼吸器)
	2/28 三浦(呼吸器)		3/1 小山(呼吸器)石黒(血液)	3/2 今井(血液)田中(呼吸器)	3/3 丹羽(消化器)馬場(呼吸器)	3/4 塩路(消化器)
※ 変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。(電話:025-234-0011)						

新潟県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~18:30

がんセンター新潟病院 URL: <http://www.niigata-cc.jp>

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます